



森林と人を
生かす知恵
158

連携先企業、募集中！ 木工教育機関3校合同プロジェクト授業

岐阜県立森林文化アカデミー ● 久津輪 雅

◆岐阜県には4つの木工教育機関

ご存知でしたか？匠の国・岐阜県には4つの木工教育機関があるのです。森林文化アカデミー、木工芸術スクール、飛騨職人学舎、森林たくみ塾。前者2校は県立、後者2校は民間で、それぞれに特徴のある教育を行っています。このうち森林文化アカデミーと民間2校は2年制なので、応用的な実習ができます。そこで数年前から民間企業と連携した3校合同プロジェクト授業を行っています。その様子をご紹介します。

◆企業との連携

2024～25年度は、瑞穂市の板蔵ファクトリー株式会社と連携しました。きっかけは同社の吉田香央里社長から森林文化アカデミーに「一枚板テーブルの存在感に負けないテーブルの脚を作りたいので、学生さんに斬新なデザインを考えてもらえないか」と相談があったことでした。3校で取り組んだ方がきつと面白いものが生まれるはずと考え、職人学舎・たくみ塾の指導員たちに相談して快諾をもらい、プロジェクトがスタートしたのです。

◆交流しながら学び、考え、作る

アカデミーは美濃市、職人学舎とたくみ塾は高山市と離れている上、普段は各校とも実習がありません。そのためプロジェクト授業は5～7月の週末に日程を組み、各回ごとにそれぞれの学校を訪問して、施設見学も兼ねながら進める工夫をしました。まず5月、板蔵ファクトリーで一枚板テーブルの見学し、吉田社長からテーブルの脚の課題を出していただき、アカデミーでチーム分けをして作戦会議。6月は職人学舎で各チームのデザインの中間報告。7月はたくみ塾で製作、そして7月末に各チームのプレゼンと表彰。

チームは学校対抗ではなく、あえて各チームに3校の学生が混ざるようにして、交流しながら学び、考え、作ってもらおうという仕掛けをしました。学生たちは普段会うことができないので、実習後にたびたびオンラインでつながらり、デザイン検討を重ねました。

◆限られた時間で製品を仕上げる

7月中旬、たくみ塾に3校の学生たちが集まり、各チームに分かれて製作開始。2日間で製品を仕上げます。他

校の学生たちにとっては慣れない機械もあるため、3校の指導員が見守ります。タイムリミットがある中での製作は、各チームとも必死でした。

1週間後、できあがった作品を吉田社長をはじめとする審査員で採点して表彰。今年度は橋脚と行灯をモチーフにしたもの、三角形の立体を組み合わせたもの、寺社建築の組物をモチーフにしたものと、ユニークな作品が並びました。

◆効果はたくさん

このプロジェクト授業、さまざまな効果がありました。まずは作品が板蔵ファクトリーで実際に商品化されたこと（既に売れた商品も！）。そして3校の中から板蔵ファクトリーに就職した学生が出たこと。3校の指導員同士にとってもお互いの学校の施設や指導法を見る良い機会になったこと。岐阜県の恵まれた環境を生かし、木工教育の質を更に高めていこうと思います。そして県内企業のみならず、連携しませんか？ぜひ森林文化アカデミーまでご相談ください。



寺社建築の組物をモチーフにしたもの



三角形の立体を組み合わせたもの



橋脚と行灯をモチーフにしたもの

●詳しい内容を知りたい方は TEL (0575) 35-2525 県立森林文化アカデミー まで